

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1475500821
法人名	株式会社 愛誠会
事業所名	はなまるホーム有馬
訪問調査日	2014年8月28日
評価確定日	2014年9月30日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成26年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1475500821	事業の開始年月日	平成17年4月1日
		指定年月日	平成17年4月1日
法人名	株式会社 愛誠会		
事業所名	はなまるホーム有馬		
所在地	(216-0002) 川崎市宮前区東有馬5-21-24		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成26年8月13日	評価結果 市町村受理日	平成26年10月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

はなまるホーム有馬は、川崎市の郊外にある丘陵地帯の緑豊かな環境にあり、近くには古くからの商店街もあります。その為、認知症を患った方が、穏やかな気持ちで静養出来、近くの商店街に買い物に行くなど、社会との関係も適度に行うことができます。利用者様のニーズにあわせた、社会資源を探し利用者様一人一人が楽しく生活を送れるように取り組んで行きます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成26年8月28日	評価機関 評価決定日	平成26年9月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①ホームの経営はアイセイ薬局を母体とする(株)愛誠会です。愛誠グループは全国に薬局を展開していますが、近年(株)愛誠会として首都圏を中心に有料老人ホームグループホームを展開しています。また同じく並列企業の社会福祉法人では、身体障害者施設、福祉作業所なども展開しており、医療・福祉に強みを持っています。(株)愛誠会に社是・企業理念があり、年度方針に基づき、事業所毎に展開して実施する体制が確立されています。愛誠グループでは福利厚生が手厚く、保養所を保有し、パートの人も利用可能となっており、職員への福利厚生にも配慮しています。事業所は東急田園都市線・鷺沼駅からバス、「東有馬第1団地前」から徒歩10分程の東有馬商店街の奥に位置しています。事業所の向かいにある階段を昇った高台には19棟が並ぶ大きな市営有馬団地があり、周囲の桜の木の植栽等と併せての景観は、視界の広がり利用者の方が安らぎを感じれる場所でもあります。

②施設長は利用者が穏やかな生活を送れることを第一優先に考え、穏やかな生活を送って頂くにはどうしたら良いかを職員に投げかけ、全職員で一緒に考え、生活の中で出来ることはなるべく利用者自身でやってもらい、自立性を促し、認知症の身体能力低下などの進行緩和を目指す取り組みを行いながら、心のこもったケアを展開しています。また、事業所として地域における社会的責任の一端を担う責任を自覚し、運営推進会議を積み重ねてきたことにより地域との繋がりも出来ました。また、商店街の役員になり、活動に協力することで商店街との絆も深まりました。

③職員の定着、資質向上には重点課題として取り組んでいます。職員の研修については、全社に亘る研修制度が確立しています。また、川崎グループホーム連絡会等の外部研修などを会社負担で受講できる体制も整っています。自己目標による自己評価も実績に応じて評価し、昇給・昇格に反映する体制も定着しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	はなまるホーム有馬
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念の中に「地域社会との間に良好な環境を作る」とあります。運営推進会議では、商店会長様を招待し協力体制を仰いでいる。又、商店会に加入し会合などにも積極的に顔を出すようにしている。	「福祉事業に携わる者としての誇りを持ち、誠実で謙虚であること並びに法令、倫理、社会規範の尊重すること」を掲げた理念を、毎朝礼時に唱和し、それを実践する事を職員で確認しています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の社会資源を活用し、利用者様のニーズの解決に取り組んでいる。近隣に商店街があるため、外食や買い物などのニーズには応え易くなっている。	ホーム近くの商店街に加入し、商店街の役員となり、商店街の行事にも積極的に協力して地域との交流も深まりました。現在、商店街と連携して模擬店の出店を計画しています。また、近くの保育園から発表会や運動会のリハーサルを兼ねて事業所へ訪ねてきてくれるので、子供達との交流を利用者は楽しんでいます。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で社会福祉を考える会合があり、積極的に参加している。地域の福祉関係者が参加しており、地域のニーズに応えるため、様々な取り組みをおこなっている。	/		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に1回の開催をしており、状況報告をし、そこでの意見をサービスに取り込んでいっている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しています。参加者は利用者、ご家族、支援センター職員、市の職員、商店街役員、本部職員等に参加してもらっています。会議では事業所の状況報告を行い、参加者から意見や要望を聞き、サービス向上に活かしています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に密接な関係であるよう、報告や相談などを行っている	ケースワーカーの方、市の職員には運営推進会議に参加してもらっている事もあり、連携を取りながら、ホーム運営上の疑問点等についても相談、指導をもらっています。また、商店街の役員をやっていることから商店会の会合にも出席する等、地域とも協力関係を築いています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、身体拘束における、利用者様にあたえる影響などを全体会議等で周知職員への理解を深めていく。	身体拘束委員会を設置し、定期的（月1回の全体会議）にホーム内研修を実施しています。マニュアルに従い、日常生活の中で、身体拘束の繋がることのないかを会議の際に確認し、全ての職員が理解を深め、身体拘束をしないケアが実践できるよう力を入れています。	今後の継続	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通し職員に重要性を学んでもらっている。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通し職員に重要性を学んでもらっている。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約開始時には必ず、契約書・重要事項説明書の読み合わせを行い、理解をしてもらうよう努めている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回外部評価を行い、評価内容を事務所窓口でいつでも閲覧できるようにしている。	ご家族の来訪時や電話で状況報告の際に意見や要望を聞いています。外部評価を行った際の家族アンケートの結果及び運営推進会議の際に頂いた意見、要望を取り入れ、介護計画及び運営に反映させています。また、外部評価を行った際の評価結果を事務所内に設置し、全職員が閲覧できるように活用しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度全体でのミーティングを行い、職員からの意見や提案を取り入れるようにしている。それを、本社会議での議題にあげたして反映できるように努力している。	職員とは定例の会議の他、食事会を開いたり、状況に応じ個別面談を実施しています。毎月本社で開かれる施設長会議で現状報告と意見交換を行っています。施設長会議では事業所で行われたミーティングでの意見や提案も報告し、現場の声が反映される仕組みがあります。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実績や、勤務状況に応じ評価をしている。各自研修などを通し、意欲の向上を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	その職員に必要と思われる研修を川崎市の研修の中から選定し行っていただくようにしている。又、研修内容を貼りだし職員が行きたい研修に行けるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の活動を通し、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に本人と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努め、その方の不安などを解消できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始前に本人・家族と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始前に本人・家族と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員へは、ここで働くというイメージではなく、ここで暮らすことをイメージとして持つことを徹底している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外泊に制限を設けず、本人への電話も体調などを考慮しつつ自由にさせていただくことで、絆を大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームでのイベントなどの際、ご家族様だけでなく、御利用者様の友人などの参加も特に制限を設けてず対応しております。	ホームでは、何時でもご家族の方や知り合いの方が来訪し易い雰囲気作りを心がけています。また、面会、ホームでのイベントの際は、ご家族だけでなく、利用者と馴染のある方なども参加出来るよう特に制限を設けず、これまでの関係が継続できるよう支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を考慮し席の配置などを決めている、又、利用者間の関係性構築のため、職員が間に入るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じフォローできるよう、ご家族様には、お話をしている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	随時アセスメントを行い、本人にあったニーズを抽出できるようにしている。	利用者の思いを大切にし、日々の生活習慣や行動から本人の意向を把握するように努め、アセスメント時に見直しを行い、介護計画に盛り込んでいます。また、利用者の言葉や行動等を個人記録に記入し、職員が共有できるようにしています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	随時アセスメントを行い、本人にあったニーズを抽出できるようにしている。又、本人との話を良く傾聴し要望等を聞きだすようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼などの申し送りで、職員全体が、利用者様の変化を把握出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスの際には、あらかじめ関係機関からの意見を聞き本人の意志が反映出来る様に努めている。	ケアカンファレンスの際には、関係機関からの意見を伺った上で、利用者、ご家族と話し合いを行い、介護計画を作成しています。また、カンファレンス時には全職員で利用者の現状や課題点等を挙げ、話し合い、医師、看護師の所見を反映させながら、利用者、ご家族から承諾をもらった上で採用しています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子を個別記録に記入すると共に、連絡帳などで、情報を共有するようにしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、ニーズに対応できるように、柔軟な姿勢で取り組んでいます。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の医療機関の協力体制、ボランティアの受け入れ等を通し、安全で豊かな生活が出来る様に支援しています。			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の往診で対応していますが、入居後もかかりつけ医の継続をしたい云う要望があれば、その医療機関関係を構築して行きます。	入居後もかかりつけ医を継続したいという要望があれば、その医療機関関係を構築しています。往診は提携クリニックから月2回と、診療所から毎週往診に来てもらっており、定期的に適切な医療を受けられるように支援しています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も朝礼に参加し、その都度申し送りを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成し、情報提供をおこなっている。又、医療機関との連携をとり早期の退院に向けた調整をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にアセスメントを行い、ご家族様・本人の終末期にむけた意向を聞きなるべく沿える様に支援しています。	入居時のアセスメントで、ご家族、利用者の終末期に向けた意向を聞き、なるべく沿えるように同意書を頂いた上で支援を行っています。また、看護師とは24時間対応可能なオンコール体制を確立しています。終末期が近づくと、医師を交えて再度方針を決め、ご家族に納得頂いた上で対応するようにしています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には看護師に意見を仰ぎ迅速に対応できるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練をおこなうことで、職員への意識向上に努めております。又、地域住民へは運営推進会議などで周知していただいております。	防災訓練は毎年、消防署指導の下、夜間想定も含めた訓練を実施し、職員の防災意識の向上に努めています。また、地域住民の方へは運営推進会議で周知、協力をお願いしています。備蓄として非常食は水、缶詰等を含め1週間分確保しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	外部の講習や職員間での話し合いにより尊厳の保持の重要性を周知しております。	定期的に事業所内で研修を実施し、外部の講習会にも参加し、人格の尊重、プライバシーの重要性について研鑽しています。日頃の利用者との会話を含め、入浴、トイレ時の声掛けはプライバシーを損ねないように、各職員間で言葉がけに注意しながら対応するよう努めています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメントにより導き出されたその方の生活リズムを崩さないように、日々のケアスケジュールを検討しております。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活スタイルをなるべく崩さないよう日々のケアにあたっております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人がその日着たいものを選ぶように、衣類の配置などに樹を配っている。又、化粧品なども購入したりしている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	みんなで、調理を行えるようなメニューを取り入れたり、利用者様に役割をもってもらったりして工夫している。	食事は職員が皆で調理できるメニューを考え、利用者と一緒に調理しています。食材も利用者と一緒に近くの商店街に出かけて調達し、食後は出来る方に後片付けや皿洗いの手伝いをしてもらっています。外食はレストランからメニューを取り寄せ、楽しみながら品定めをして楽しめる食事の機会を設けています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分の量をチェックし、状況の把握につとめている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回の歯科訪問により必要なケアの方法を指導していただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック票を記入することにより、その方のリズムを把握するようにしております。	個々の排泄チェック表を記入し、一人ひとりのリズムを把握しています。基本的にトイレでの排泄を促し、素振りや表情を見て声かけを行い、トイレへ誘導しています。オムツ等の使用も極力抑え、自力排泄を支援しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳やヨーグルトなどその方にあわせた飲食物を提供するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日などは決めず臨機応変な対応を心がけております。	入浴は週2日を設定していますが、曜日は決めていません。臨機応変に利用者の希望に合わせて入浴できるよう支援しています。1階にはリフト浴の設備があり、重度化に合わせた入浴介助を行っています。また、季節に合わせ菖蒲湯ゆず湯、入浴剤を使用して楽しんでもらえるよう工夫しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝の時間は特に決めておらず、その方の就寝時間にあわせた対応をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に、処方されている薬に関して、医師より薬の効果・副作用について説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の過す場所に、趣味にあわせた本を置くなど、工夫をしている。又会話などにより、その方の趣向を聞き出すようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴を行ったり、庭の手入れなど積極的に出してもらおうようにしている。	天気の良い日は屋上での外気浴や庭の手入れを手伝ってもらっています。近くの公園や買い物を兼ねて近くの商店街に散歩に行く等、積極的に外出が出来るよう支援しています。車を借りて、離れた生田公園や東高根森林公園に出かけることも有ります。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人、一人金庫にて保管させていただき、外出時などには欲しいものを買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方には特に制限をすることなく自由に使用していただいている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じれるように、季節ごとの飾りをしたりしている。又、利用者様のわかりやすい言葉でトイレを「かわや」などの表記にしている。	リビングはゆったりと広く、中庭からの採光も良く、明るい空間になっています。事務室と調理室からは居間が見通せる造りになっており、利用者はスタッフとの会話を楽しんだり、ソファに座りTVを見る利用者もあり、思い思いに寛いで過ごしています。また、季節の花を飾ったり、季節ごとに装飾を変える等、事業所内でも季節感が感じられるように工夫されています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の際の席の配置の工夫などにより、仲間同士くつろげるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に出来る限り、馴染みのものを持ってきていただいている	居室には洗面台、クローゼット、カーテン、ベッドが設備されており、入居時には、これまで使い慣れた物を持ち込んで頂き、本人が心地よく過ごせるように配慮しています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路などとおしやすいように環境の配慮している。又、手すりを多く設置し安全面に配慮している。		

目標達成計画

事業所

はなまるホーム有馬

作成日

平成26年8月28日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域との繋がりのお機会を多く持ち地域での理解をより深めていきたい	地域イベントへの参加	町内会への加入	通年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	はなまるホーム有馬
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	企業理念の中に「地域社会との間に良好な環境を作る」とあります。運営推進会議では、商店会長様を招待し協力体制を仰いでいる。又、商店会に加入し会合などにも積極的に顔を出すようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の社会資源を活用し、利用者様のニーズの解決に取り組んでいる。近隣に商店街があるため、外食や買い物などのニーズには応え易くなっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で社会福祉を考える会合があり、積極的に参加している。地域の福祉関係者が参加しており、地域のニーズに応えるため、様々な取り組みをおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に1回の開催をしており、状況報告をし、そこでの意見をサービスに取り込んでいっている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に密接な関係であるよう、報告や相談などを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、身体拘束における、利用者様にあたえる影響などを全体会議等で周知し職員への理解を深めていく。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を通し職員に重要性を学んでもらっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修を通し職員に重要性を学んでもらっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約開始時には必ず、契約書・重要事項説明書の読み合わせを行い、理解をしてもらうよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回外部評価を行い、評価内容を事務所窓口でいつでも閲覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度全体でのミーティングを行い、職員からの意見や提案を取り入れるようにしている。それを、本社会議での議題にあげたして反映できるように努力している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実績や、勤務状況に応じ評価をしている。各自研修などを通し、意欲の向上を図っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	その職員に必要と思われる研修を川崎市の研修の中から選定し行っていただくようにしている。又、研修内容を貼りだし職員が行きたい研修に行けるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の活動を通し、交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に本人と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努め、その方の不安などを解消できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用開始前に本人・家族と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始前に本人・家族と面接をし必要なニーズを把握出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員へは、ここで働くというイメージではなく、ここで暮らすことをイメージとして持つことを徹底している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会や外泊に制限を設けず、本人への電話も体調などを考慮しつつ自由にさせていただくことで、絆を大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームでのイベントなどの際、ご家族様だけでなく、御利用者様の友人などの参加も特に制限を設けてず対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を考慮し席の配置などを決めている、又、利用者間関係性構築のため、職員が間に入るようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じフォローできるよう、ご家族様には、お話をしている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	随時アセスメントを行い、本人にあったニーズを抽出できるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	随時アセスメントを行い、本人にあったニーズを抽出できるようにしている。又、本人との話を良く傾聴し要望等を聞きだすようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝礼などの申し送りで、職員全体が、利用者様の変化を把握出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアカンファレンスの際には、あらかじめ関係機関からの意見を聞き本人の意志が反映出来る様に努めている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子を個別記録に記入すると共に、連絡帳などで、情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る限り、ニーズに対応できるように、柔軟な姿勢で取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の医療機関の協力体制、ボランティアの受け入れ等を通し、安全で豊かな生活が出来る様に支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、協力医療機関の往診で対応していますが、入居後もかかりつけ医の継続をしたい云う要望があれば、その医療機関関係を構築して行きます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師も朝礼に参加し、その都度申し送りを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはサマリーを作成し、情報提供をおこなっている。又、医療機関との連携をとり早期の退院に向けた調整をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にアセスメントを行い、ご家族様・本人の終末期にむけた意向を聞きなるべく沿える様に支援しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には看護師に意見を仰ぎ迅速に対応できるようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練をおこなうことで、職員への意識向上に努めております。又、地域住民へは運営推進会議などで周知していただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	外部の講習や職員間での話し合いにより尊厳の保持の重要性を周知しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	アセスメントにより導き出されたその方の生活リズムを崩さないように、日々のケアスケジュールを検討しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活スタイルをなるべく崩さないよう日々のケアにあたっております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人がその日着たいものを選ぶように、衣類の配置などに樹を配っている。又、化粧品なども購入したりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	みんなで、調理を行えるようなメニューを取り入れたり、利用者様に役割をもってもらったりして工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分の量をチェックし、状況の把握につとめている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回の歯科訪問により必要なケアの方法を指導していただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック票を記入することにより、その方のリズムを把握するようにしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳やヨーグルトなどその方にあわせた飲食物を提供するようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日などは決めず臨機応変な対応を心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝の時間は特に決めておらず、その方の就寝時間にあわせた対応をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時に、処方されている薬に関して、医師より薬の効果・副作用について説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の過す場所に、趣味にあわせた本を置くなど、工夫をしている。又会話などにより、その方の趣向を聞き出すようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外気浴を行ったり、庭の手入れなど積極的に出てもらおうようにしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人、一人金庫にて保管させていただき、外出時などには欲しいものを買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方には特に制限をすることなく自由に使用していただいている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じれるように、季節ごとの飾りをしたりしている。又、利用者様のわかりやすい言葉でトイレを「かわや」などの表記にしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の際の席の配置の工夫などにより、仲間同士くつろげるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に出来る限り、馴染みのものを持ってきていただいている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路などとおりにやすいように環境の整備している。又、手すりを多く設置し安全面に配慮している。		

目標達成計画

事業所

はなまるホーム有馬

作成日

平成26年8月28日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域との繋がりのお機会を多く持ち地域での理解をより深めていきたい	地域イベントへの参加	町内会への加入	通年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。